

葉月「もう…身も心も…貴方様に捧げますわ…ちゅっ…」

美冬「今まで…私たちが…施術していましたが…これからは…貴方様の思うがままでございますの…」

葉月「ふう～～っ…はぁ～～っ…今度は…私たちを…好きに触って…揉みしだいて…くださいまし…はぁ～～っ…れろお～～っ…」

美冬「れろお～～っ…この唇もお…すべて貴方様のもの…んふ～～っ…れろお～～っ…はぁ～～っ…どこでも…触ってくださいまし…んはぁ～～っ…はぁ～～っ…太ももを…撫でるように…触られると…はぁ～～っ…んん～～っ…はぁ～～っ…」

葉月「んふっ～～っ…はぁ～～っ…うなじを…そうやって…優しく触られますと…んはぁ～～っ…体が火照ってしまって…んふ～～っ…れろお～～っ…力が…抜けてしまいますの…ふう～～っ…」

美冬「れろお～～っ…太ももから…はぁ～～っ…お尻にかけて…んん～～っ…素敵ですわ…はぁ～～っ…はぁんっ…お尻の割れ目に沿って…撫でられるなんて…んん～～っ…私…恥ずかしいですわ…はぁ～～んっ…れろお～～っ…」

葉月「はぁ～～っ…んん～～っ…髪をかき上げて…んはぁ～～っ…そのまま…背中の方まで…舐めるように…んふう～～っ…私のことを…お好きなように…んはぁ～～っ…どこでも…もっと…いやらしいところまで…んん～～っ…」

美冬「あはぁ～～っ…お尻から…一番大事なところまで…んはぁ～～っ…もちろん…いいですの…はぁ～～っ…そうやって…好きなだけ…私の中の方まで…んはぁ～～っ…」

葉月「ふう～～っ…胸の方にも…はぁ～～っ…貴方様の手が…んふ～～っ…れろお～～っ…
どうぞ…んはぁ～～っ…いいですわ…はぁ～～っ…優しくされても…激しくされても…れろお
～～っ…はぁ～～っ…いやらしい私は…みだらにい…昂ぶってしまいますの…はぁ～～っ…」

美冬「はぁ～～っ…そんなに…んふう～～っ…お尻のお肉を…んはぁ～～っ…広げられては
…はぁ～～っ…恥ずかしいですの…んん～～っ…そんなにじろじろと見られては…はぁ～～
っ…体中から…汗や体液が…溢れてしまいますわ…はぁ～～っ…」

葉月「んふう～～っ…貴方様の…お好きに…してくださいませ…んふう～～っ…もっと…激し
く…貴方様の大好きな…私のおっぱいを…堪能して…はぁ～～んっ…はぁ～～っ…もう興奮
して…ふう～～っ…あそこが…とっても大きくなってえ…いらっしやるのお…はぁ～～っ…」

美冬「んはぁ～～っ…ふう～～っ…私の…下半身…はぁ～～っ…貴方様に…撫でまわされ
て…んふう～～っ…熱くなっておりますの…んふう～～っ…はぁ～～っ…太ものの触り方…い
やらしすぎて…体中…ほてってしまいますわ…れろお～～っ…」

葉月「はぁ～～っ…両方のおっぱいを…んはぁ～～っ…お楽しみくださいませ…レロお～～っ
…上下に動かしたり…はぁ～～っ…乳首を…つまんでみたり…舐めていただいたり…はぁ
～～っ…なにをなさっても…かまいませんの…はぁ～～っ…」

美冬「はぁ～～っ…私…興奮して…もう…汗が…びっちょりになってますの…はぁ～～んっ…
わ、わきの下なんて…んはぁ～～っ…れろお～～っ…一番に汗を…かいているところなのに
…はぁ～～んっ…そんなところを…いやらしく…舐めていただくなんて…んはぁ～～っ…恥ず
かしくて…もう…なすがままの…体になってしまいますのお…んはぁ～～っ…」

葉月「はぁ～～っ…唇を奪われてしまいましたわ…んはぁ～～っ…れろお～～っ…どうぞ…
私の唇を…吸いつくしたり…嘗め回したりしてくださいませ…んはぁ～～っ…れろお～～っ…」

美冬「はぁ～～んっ…貴方様の…硬くて…たくましいものが…当たってますの…れろお～～
っ…私たちを…おもちゃにしておられるうちにい…こんなに…勃起なされて…れろお～～っ…
その太いもの…もっと…私の体に…押し付けてくださいませ…れろお～～っ…」

葉月「れろお～～っ…んはぁ～～っ…それではぁ…私達お待ちかねの…れろお～～っ…貴方
様によるう…オチンポマッサージ…はぁ～っ…お願い致しますのお…れろお～～っ…」

美冬「はぁ～～っ…その…固くてたくましい…オチンポ様でえ…んはぁ～～っ…私達の…気
持ちいいところにい…んはぁ～～っ…押し当てて…トロトロにしてくださいませえ…」

葉月「はぁ～～っ…私達のお…どんなところでも…構いませんわ…んはぁ～～っ…私の全身
がぁ…貴方様のチンポを…欲しがっておりますのお…れろお～～っ…んはぁ～～っ…」

美冬「はぁ～～っ…素敵ですわ…んはぁ～～っ…チンポがぁ…私達を刺激して…身も心もお
…トロけそうですのお…んはぁ～～っ…チンポマッサージでえ…癒やされますう…んはぁ～～
っ…

葉月「んはぁ～～っ…私は…こうやって…淫らにい…お尻を突き出して…チンポを…欲しが
っておりますから…んはぁ～～っ…もっと強く…いやらしくう…お願い致しますわ…んはぁ～
～っ…駄目ですわぁ…そんなに焦らしては…おかしくなってしまいますのお…れろお～～っ…
んはぁ～～っ…」

美冬「んはぁ～～っ…私が…チンポを…ふう～～っ…一番ほしいところは…もちろん…お・
ま・ん・こでえ…ございますのお…んはぁ～～っ…ふう～～っ…先程は…さんざん焦らしておき
ながら…自分はぁ…オマンコにい…欲しくて…いやらしくおねだりしている…ドスケベオマン
コですの…んはぁ～～っ…ふう～～っ…んふう～～っ…」

葉月「はあ～～っ…私もお…チンポが欲しくて…はあ～～っ…貴方様にい…マンコ丸出しにしている…んはあ～～っ…スケベななでしこですう…指でも…チンポでもいいので…はあ～～っ…オマンコ…おまんこいじってえ～～んっ…れろお～～んっ…」

美冬「んはあ～～っ…貴方様の指が…んはあ～～っ…なでしこマンコのお…気持ちいいところ…刺激してますのお…んはあ～～っ…れろお～～っ…オマンコマッサージ…んはあ～～っ…ふう～～っ…最高ですのお…んはあ～～っ…」

葉月「れろお～～っ…こっちのオマンコもお…はあ～～っ指で…いじられてますう…ふう～～っ…れろお～～っ…私い…クリトリス…とっても敏感ですのお…んはあ～～っ…指マンコで…はあ～～っ…クリイキいたしますのお…んふう～～っ…」

美冬「んはあ～～…では…最後にい…れろお～～っ…好きなだけ…二人のなでしこのお…オマンコにい…チンポをつっこんでえ…んはあ～～っ…セックスしてくださいませ…んはあ～～っ…んはあ～～っ…貴方様なら…本番プレイも…構いませんわ…んはあ～～っ…」

葉月「れろお～～っ…どうぞ…んはあ～～っ…マンコでえ…セックスしてくださあ～～いつ…んはあ～～っ…ふう～～っ…なでしこのマンコにい…おっきいチンポ…入れてくださいまし…んはあ～～っ…」

美冬「んはあ～～っ…こんなにい…硬いものお…はあ～～っ…壊れてしまいますのお…れろお～～っ…はあ～～っ…体全体を…触られながら…んはあ～～っ…汗だくで…セックス…しますわ…れろお～～んっ…」

葉月「はあ～～っ…私にもお…チンポ…入っちゃいましたあ…はあ～～っ…体と…体を…密着させながら…まぐわうっていると…んはあ～～っ…私のお…オマンコ…きゅ～～って…締りが良くなりますの…んはあ～～っ…れろお～～っ…」

美冬「んはぁ～～っ…れろぉ～～っ…チンポとマンコでえ…はぁ～っ…何度も何度もお…イキまくってしまいますのお…んはぁ～～っ…れろぉ～～っ…壊れるまでえ…マンコをお使いになってえ…スッキリしてくださいましぃ～っ…んはぁ～～っ…」

葉月「私達はぁ…マッサージや…オマンコを使ってえ…殿方にい…お尽くしいたしますのお…はぁ～～っ…私達のお…エロマンコでえ…たっぷり気持ちよくなってえ～～っ…」